

## 2025年度 流域圏担い手づくり事例集について

'26. 2. 6 豊田市矢作川研究所 洲崎燈子

## 【これまでの事例集づくりについて】

- ・ 中山間地の活性化を進め、過疎化や少子高齢化問題を解決に導く糸口として、持続可能な流域作りに関わる102団体に取材を行い、2013～2016年度にかけて4冊の「山村再生担い手作り事例集」と、2017～2018年度にかけて2冊の「流域圏担い手づくり事例集」を作成した。
- ・ 2019～20年度は事例集づくりを休止し、流域圏懇談会10年誌を作成。
- ・ 10年誌をつくったことで、都市を巻き込んだ流域圏づくりの必要性が認識されるようになり、2021年度以降の事例集は複数の方の取材・寄稿により、ひとつのテーマの立体像を描く様式に変更。2021年度は学童保育木造化プロジェクト、2022年度は錦二丁目都市の木質化プロジェクト、2023年度は伊勢湾・三河湾の豊かさ、2024年度は流域総合水管理をテーマに事例集を作成した。
- ・ 2017～19年度および2023～24年度には、主に前年度の事例集づくりでできた人のつながりを深め、広めることをめざして「事例集交流会」を開催。

## 流域圏担い手づくり事例集

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2013年度

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2014年度

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2015年度

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2016年度

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2017年度

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2018年度

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2019年度

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2020年度

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2021年度

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2022年度

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2023年度

山村再生担い手づくり事例集  
矢作川流域懇談会  
2024年度

◆事例集のミッション

- ① 現場に行って、直接、現場の人たちの苦悩や喜びや課題に触れる  
→ 生の声を引き出す！
- ② その生の声をみんなで共有しよう！  
→ 報告集に取りまとめ、流域圏懇談会のホームページにアップ
- ③ 課題をあぶり出す  
→ 集い、知恵の交換をする

6冊目までは中山間地振興や川や海的环境保全に関わる活動を行う団体への取材記録を掲載。  
7冊目からは山、川、海だけでなく、都市を巻き込んだ流域圏づくりにつながるプロジェクトを取材対象に。

## 【2025年度の事例集】

- ・ 前年度の事例集IV-Iでは、公開講座の記録を中心に「流域総合水管理」の考え方をわかりやすく紹介した。
- ・ 2025年度は「(仮) 流域圏大学の構築に向けて」をテーマとして、矢作川流域を中心とした伊勢湾流域圏に加え、遠州灘に注ぐ河川の流域圏（遠州灘流域圏）を含めたエリアも対象に、流域総合水

管理の実現につながる活動（地域づくり、人材育成、研究等）を行っている団体に取材を実施する。構成は個別のレポートを単位とする事例集Ⅱ以前のスタイルに戻し、事例集Ⅳ-Ⅱとしてまとめる。

- ・事例集交流会は2026年度に2冊の事例集分をまとめて開催する。

## 2025 流域圏担い手づくり事例集Ⅵ-2 流域圏大学構築に向けて（取材先）

流域圏	流域・地域	テーマ	取材先	Person	取材者	備考
序章	新春対談	「流域圏大学」を語る	山部会座長／東大教授	蔵治 光一郎	近藤 朗	2026. 1/7 9:00～ スペース七番
			名古屋工業大学教授	萱場 祐一		
			(司会) 豊田市矢作川研究所	洲崎 燈子		
川(流域)研究所	流域圏研究所へ	流域(川)への入口 ／山へ川まで流域を繋ぐ ／森の「知の拠点」 流域データの構築 市民を繋ぐ川づくりへ 担い手づくりの可能性	豊田市矢作川研究所 ／30年の流域資産 森の健康診断 ／天然アユ調査会など ／ふるさとの川づくりなど ／社会学の視点(古岸)	宮田 昌和 洲崎 燈子 吉橋 久美子	近藤 朗 松沢 孝晋 中村晋一郎	
山(人)	恵那・岩村	終活／ニワケンという生き方	HYAKKEI 古経	丹羽 健司	三ツ松 由有子	2026. 1/17 15:00～ 地域の未来C
	豊田・旭	百姓／戸田友介という生き方	つくらせる ひとなる塾	戸田 友介	鈴木 建一	
	豊田・小原	関係人口・自治(農業・林業)	しきしまの家／自給家族	鈴木 辰吉	高橋 啓	
山(自治体)	根羽村	森とまちの流域学	根羽村(村長)	大久保 憲一	小池 時広 山路 哲 三ツ松由有子 +信大生関係	
			根羽村森林組合	大久保 裕貴		
			山地酪農	ハッピーマウンテン		幸山 明良
nebane	nebane代表(流域経済圏)	杉山 泰彦				
平谷村	人口減少最先進地の生き方	平谷村(村長)役場の人 飯伊森林組合の方々	西川 清海	野田 賢司		
山へ	まち(豊田)などから	流域(山・森)への入口	女子よ 森へ行こう!	宇角 佳笑 大田 真智子	近藤 朗	
担い手	伊勢湾流域 遠州灘流域	若者たちの流域圏への入口 地域と向き合う担い手づくり	地域の未来・志援センター 「未来創造プログラム」	三ツ松 由有子	近藤 朗 浜口 美穂 曾我部行子	
担い手(山)	天龍村	関係人口・自治(祭りを通して)	山の民のまつり	村人たち	三ツ松由有子 +学生たち	渡邊美里ら取材は学生たちに 2025.9.14～15 ミライ合宿の記録
担い手(海)	庄内川流域	世代・流域を繋ぐ 海の入口として ～海上の森も視野に入れて	藤前干潟 ガタレンジャー 藤前干潟を守る会	戸苅 辰弥	曾我部行子 浜口 美穂 洲崎 燈子	
担い手(海)	三河湾	流域(海)への入口	NPO シーブリーズ	永田 桂子	三ツ松由有子 榎並万里子	伊勢湾再生推進会議海域検討会
その他のアプローチ	岡崎市	唐澤晋平の現在地	幸田町の森 アフテの森	唐澤 晋平	高橋 啓	
	岡崎市(乙川流域)	流域(川)への入口 流域を繋ぐ	ONE RIVER	岩ヶ谷 充	事務局補佐 中村晋一郎	
	鈴鹿川流域	世代・流域を繋ぐ	魚と子どものネットワーク	新玉 拓也	浜口 美穂 近藤 朗	
終章	寄稿文	「流域圏大学」に向けて	中部流域連携ネットワーク	近藤 朗		

「おわりに」 洲崎